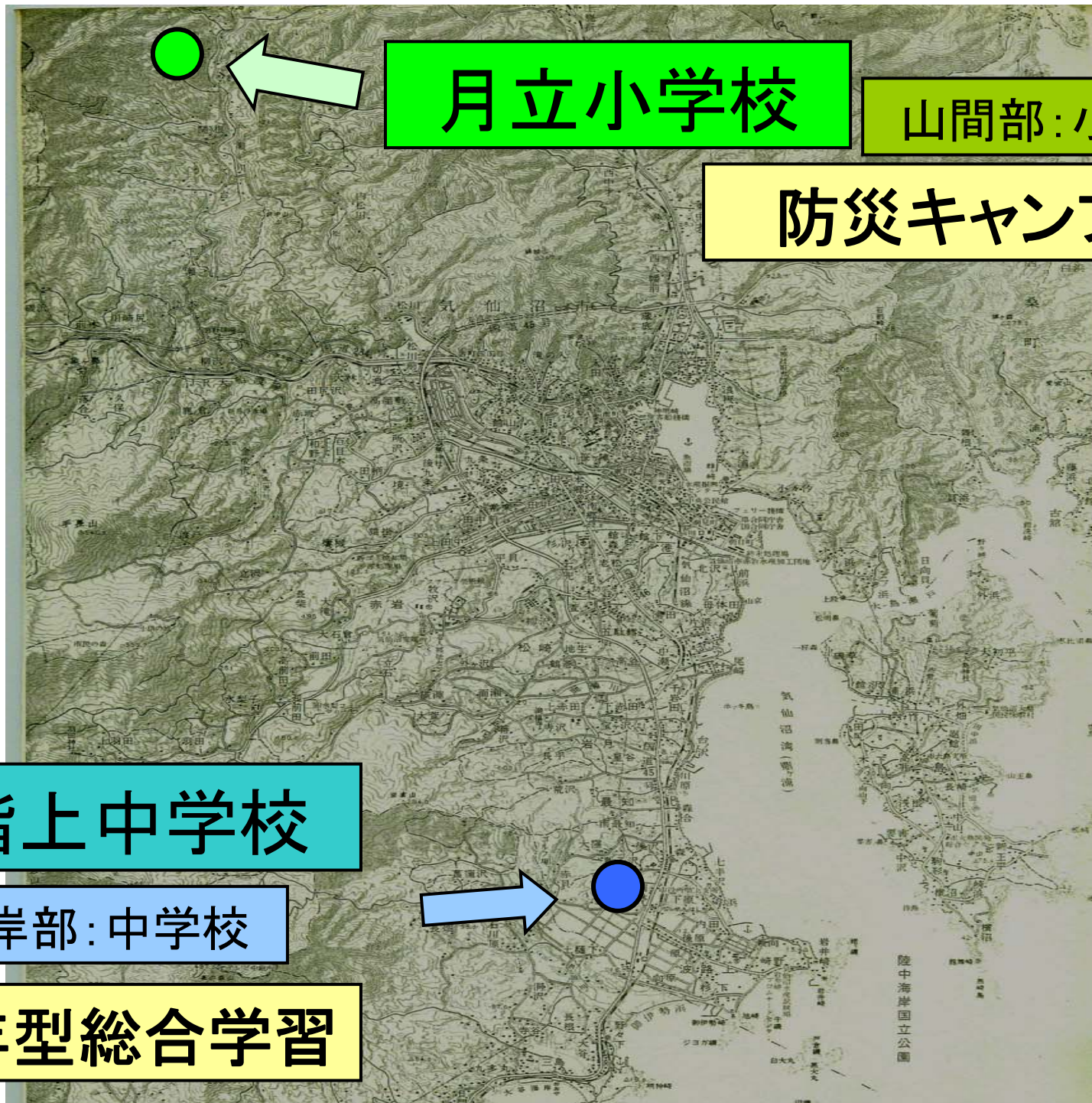


宮城県 気仙沼市（月立小学校、階上中学校）の 2005年度チャレンジプラン取り組みのご報告





月立小学校

山間部: 小学校

防災キャンプ

階上中学校

沿岸部: 中学校

通年型総合学習

宮城県沖地震の発生震源域

【30年以内の発生確率99%】約37年周期で発生！
 （最短の間隔では26年：昭和53年+26年=昭和79年）

気仙沼→

昭和79年＝平成？年

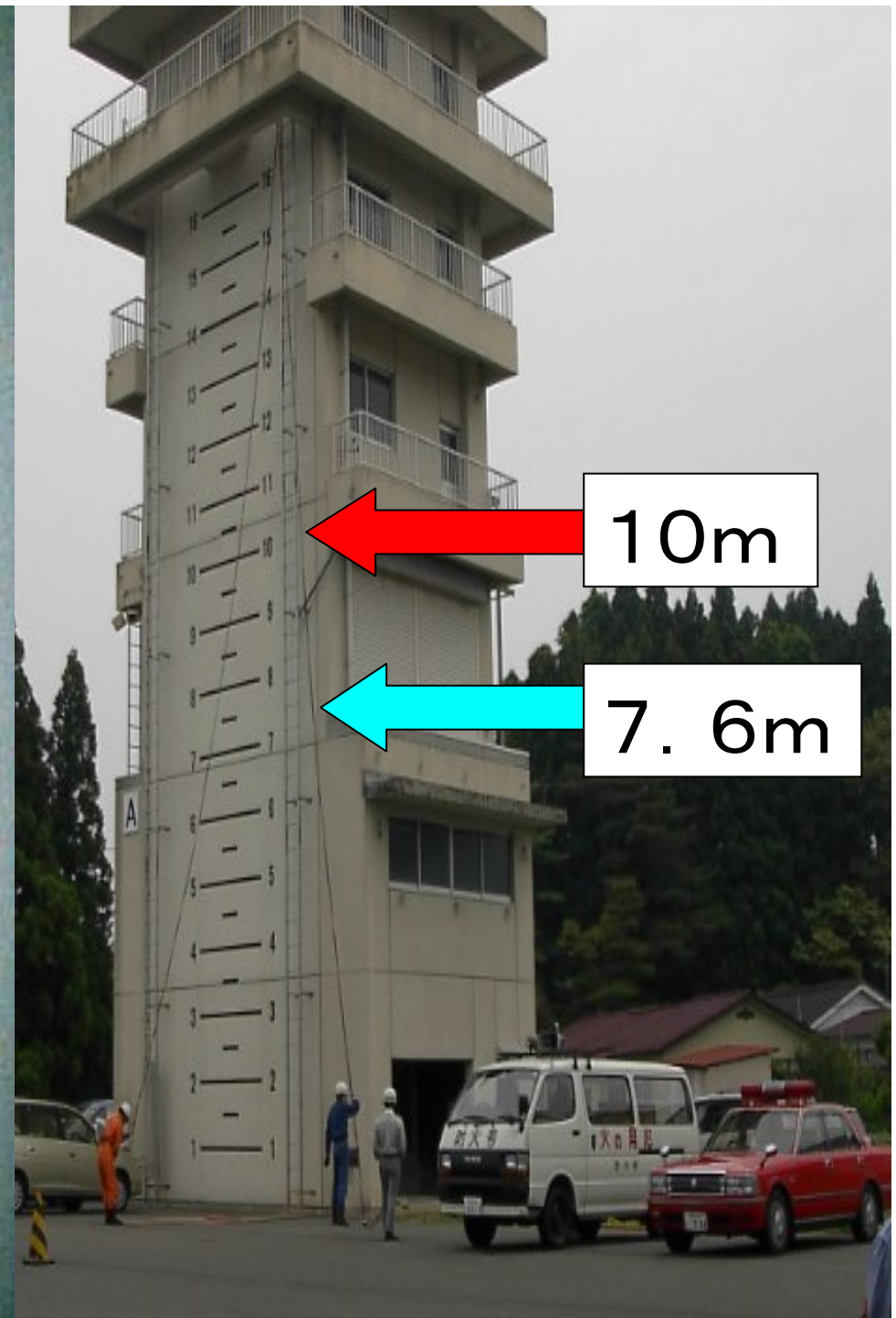
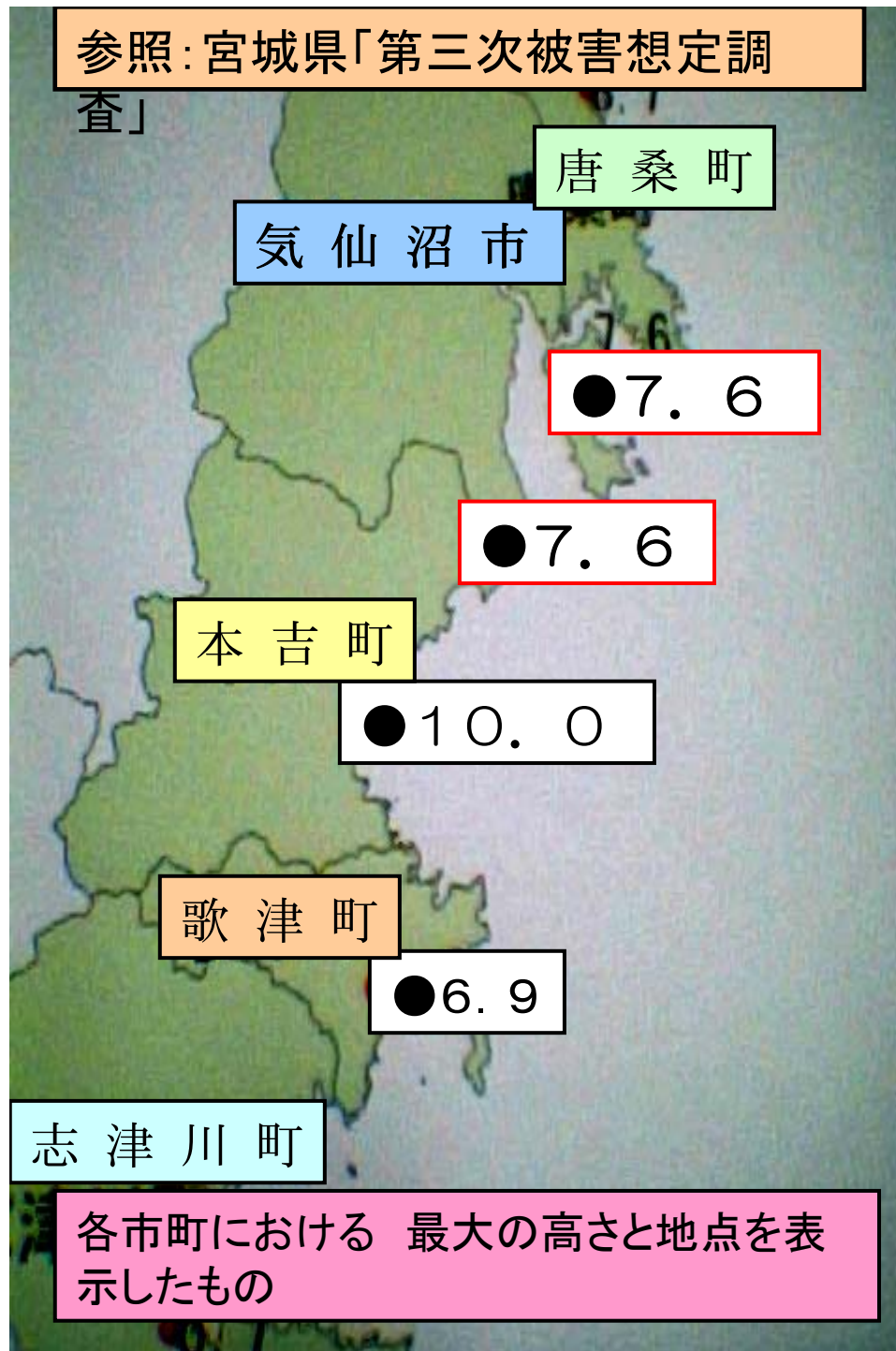
宮城県

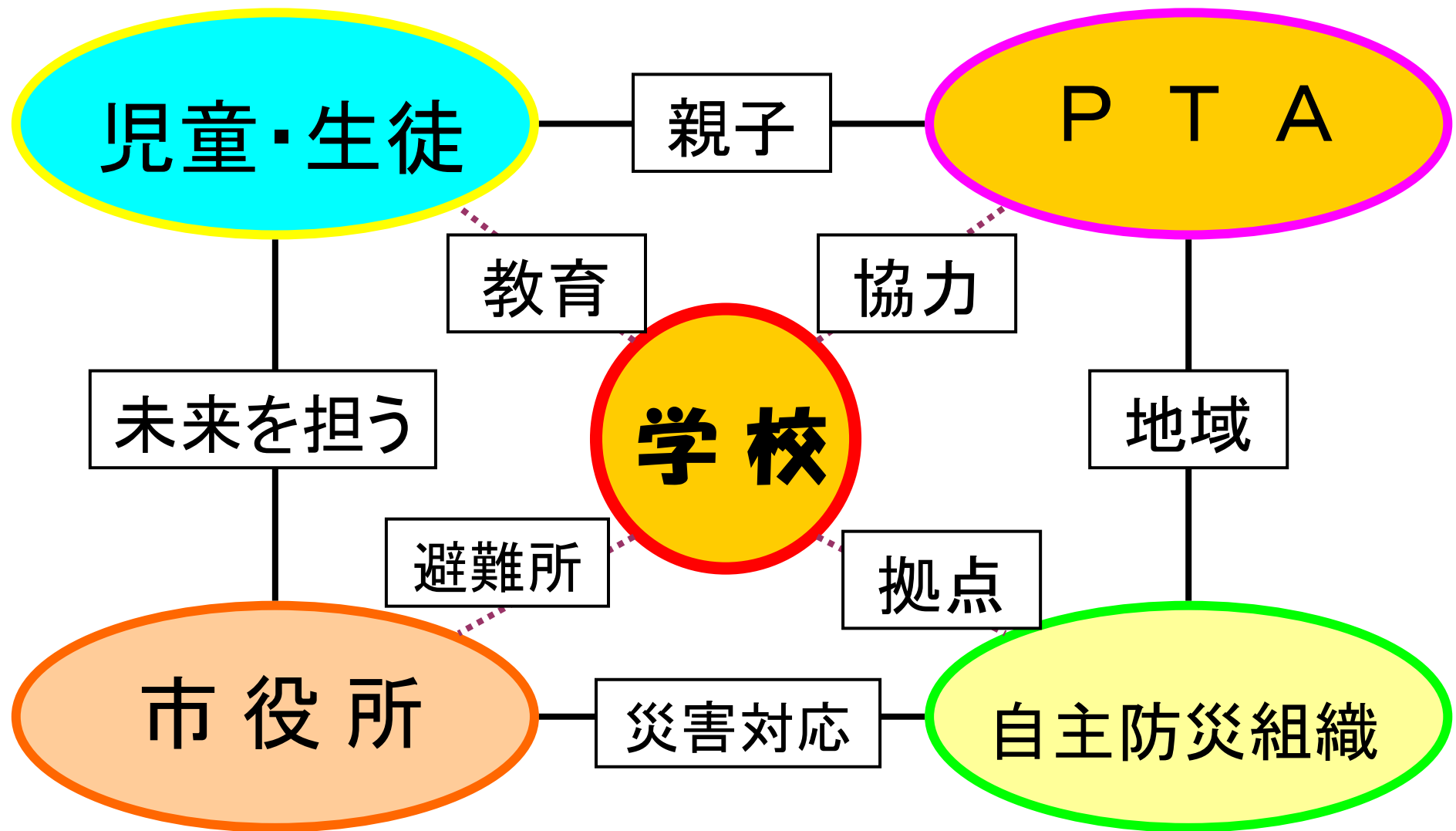
約105年周期で発生！！（H15.1月で105年経過）

05.8・16宮城地震

（A1とA2を合わせた領域）

N115°E ± 10°





「学校」を『核』とした
地域の連携による地域防災力の向上

気仙沼市立月立小学校の概要



避難訓練 I



震度6弱 地震発生！



避難訓練Ⅱ



はしご車による救助活動

協力：気仙沼消防署

救急法・応急手当訓練 I

協力：日赤宮城県支部



救急法・応急手当訓練Ⅱ

心肺蘇生法訓練(心臓マッサージ)



AED(自動対外式除細動器)



炊き出し訓練 I



アルファ米(非常食)とレトルトカレー



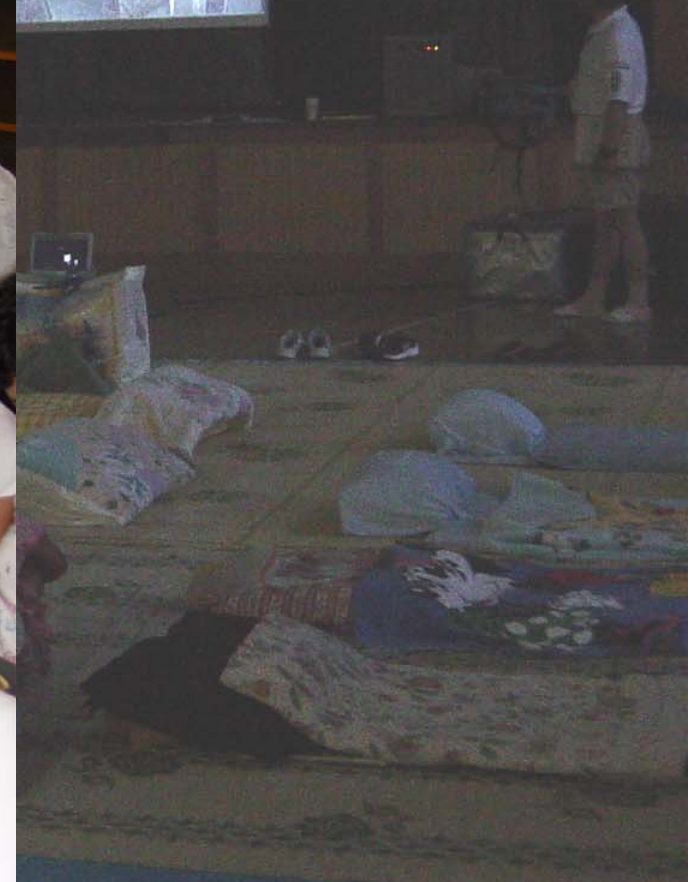
炊き出し訓練Ⅱ

朝食はスローフード！



ぼうさい講座（映像と実験）

液状化の実験



防災マップ作成 I（ぼうさい探検隊）



防災マップ作成Ⅱ





レクリエーション(テント泊、きもだめし)



企画の留意点 I

地域住民が参加できる企画

- 見学(訓練・緊急車両)
- 防災ビデオ鑑賞
- 防災用品の展示
- 乾パンの試食



企画の留意点Ⅱ

□プログラムの時間配分

- ・低学年への配慮
- ・休憩・おやつ 等

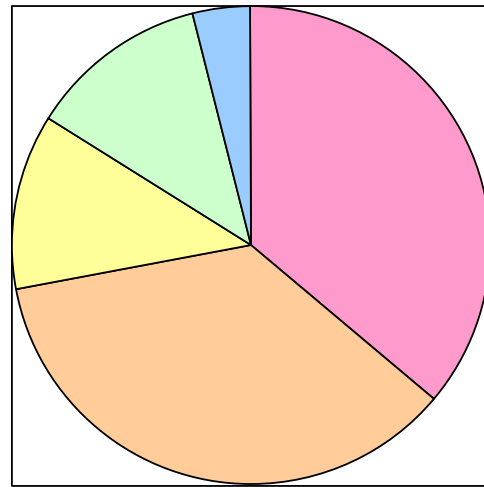
□事前活動

- ・児童・保護者 それぞれに対して
事前に「防災マップ作成」説明会を開催
- ・親子で地区内の危険箇所を確認 など

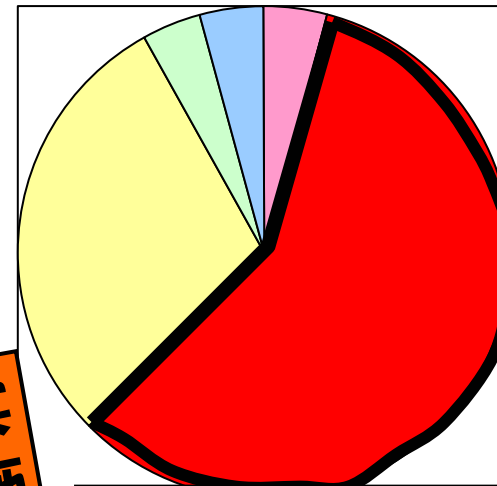


実施前

には、6割程度しか家庭内で話していませんが



宮城県沖地震を知ってる
か？

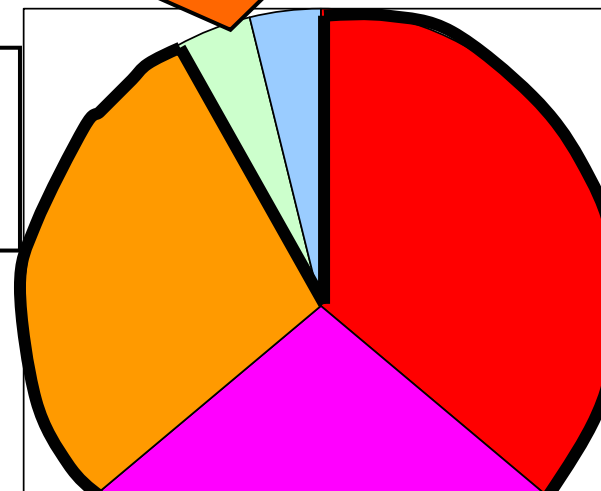


家庭で災害について話す
か？

実施後

今後、家族で災害について話しますか？

実施後



約9割のご家庭で話そうと思っていただけました。

ま と め

□防災キャンプを通じて

1. 子供たちの生き生きとした姿
2. 地域の危険箇所の共有化
3. 地域全体（子供、保護者、住民）での
共同作業 （コミュニティへの一助）
4. 事前の備え、対策への着眼

○ 階上中学校の取り組み



チリ地震津波体験者の講話(地元消防団員)

当時の状況

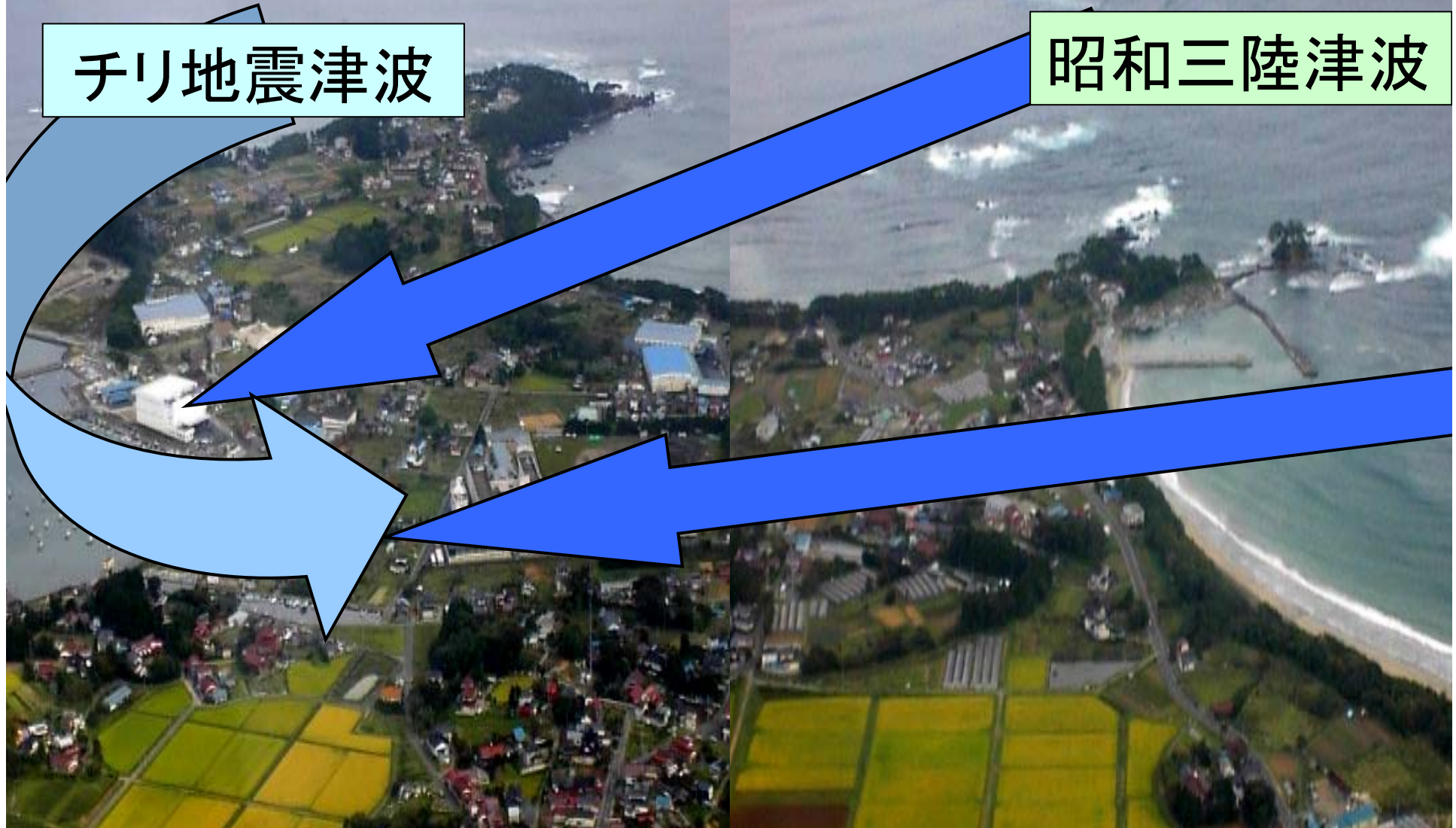
地震・火災時の対応



気仙沼市（階上）をおそった 過去の津波災害等について

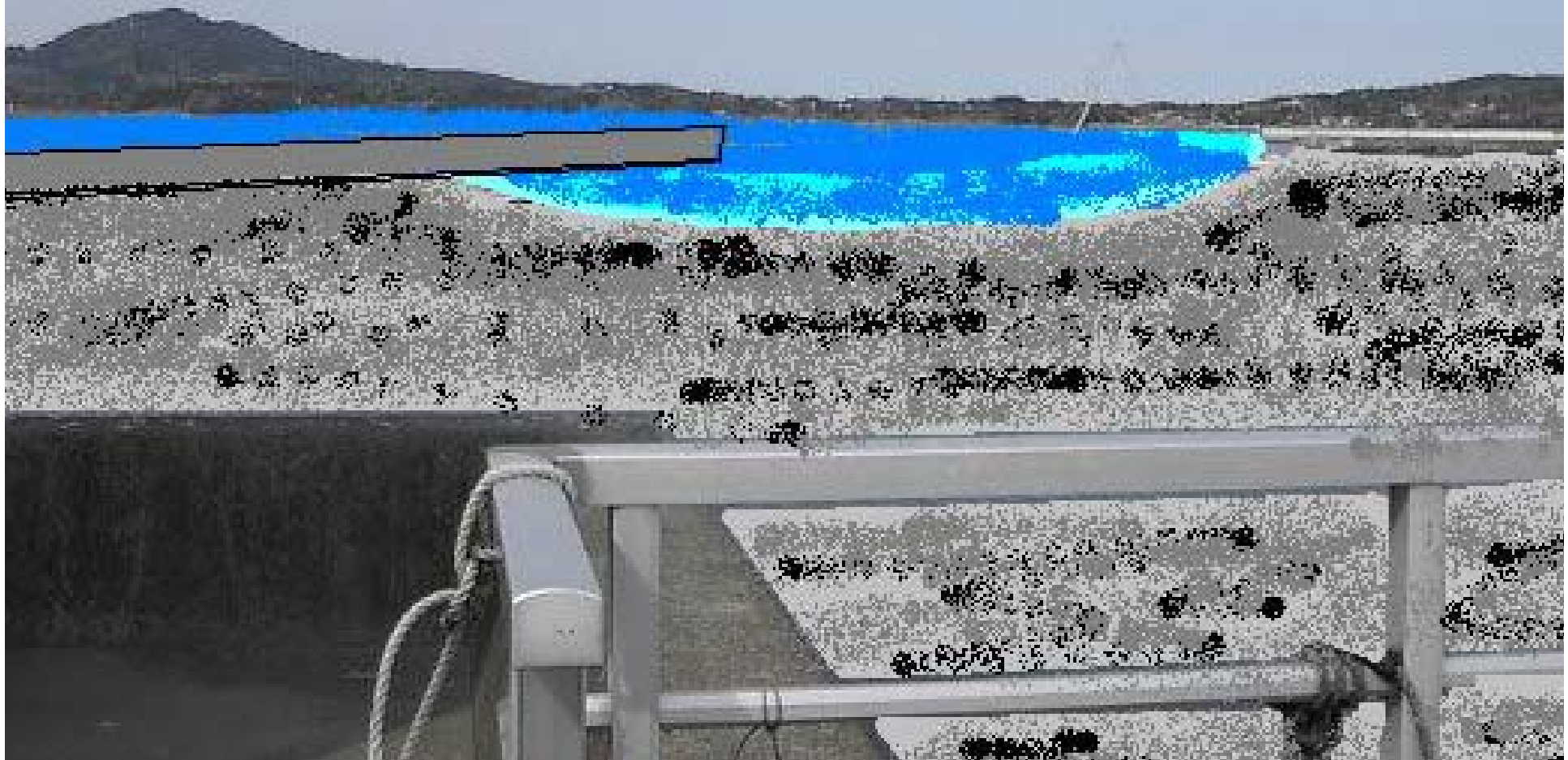
チリ地震津波

昭和三陸津波



チリ津波の引き潮のイメージですが、実際

大島に歩いて渡れるかと思ったほどだったそうです。



津波碑：地福寺



津波碑：岩井崎



- ・明治29年の津波で階上で442名が亡くなったこと。
- ・昭和8年の被害状況。「地震があったら津浪の用心」の記載。

昭和35年 チリ地震津波の被害状況



作業用地図の着色(等高線の勉強)



防災センターでの体験学習（地震・煙避難等）



実地調査（現地調査とアンケート）



立体地図の作成(切って貼るだけ)



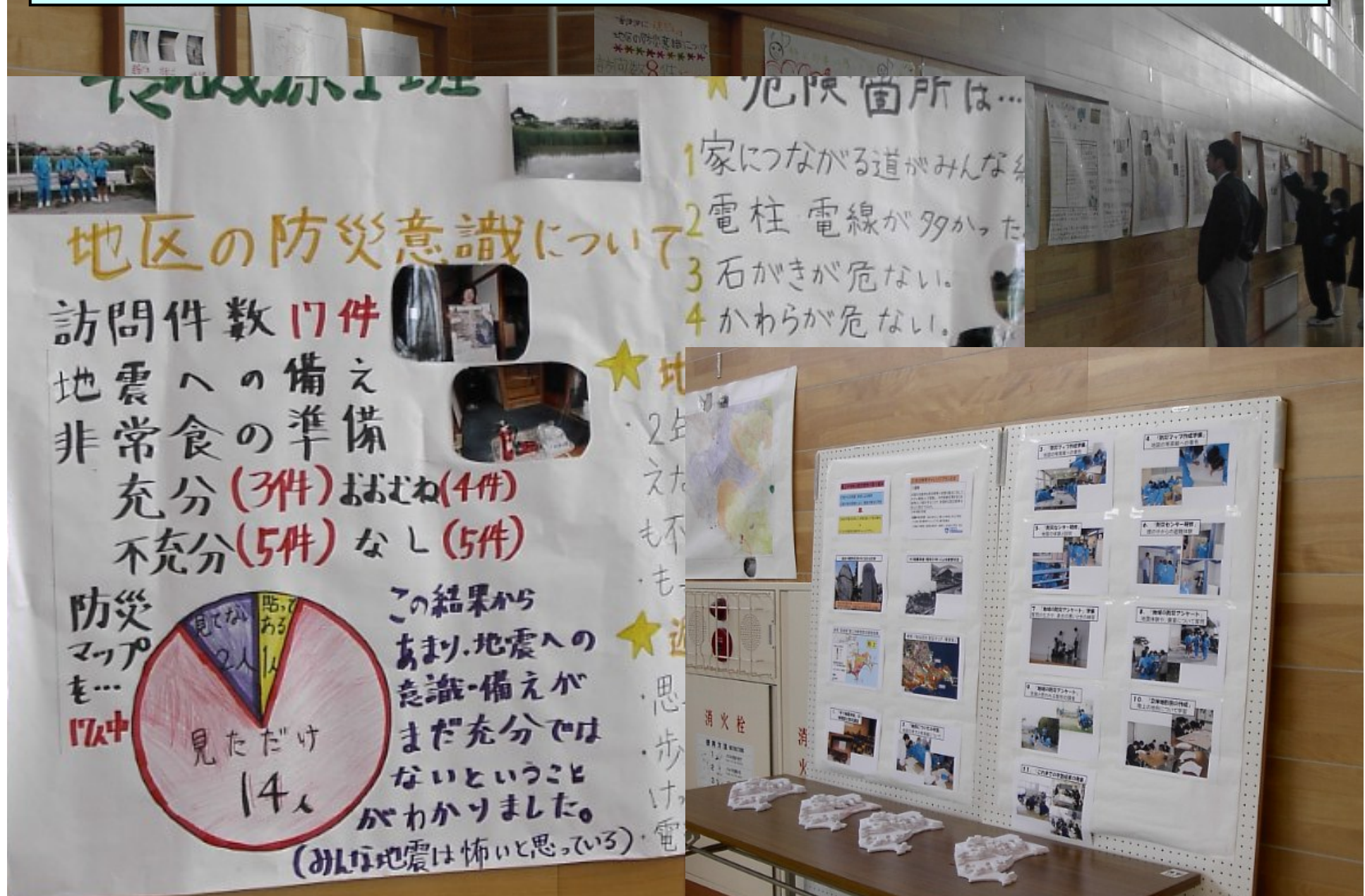
防災発表会（マップ、アンケート）



防災発表会（防災3箇条）



防災発表会（PTAの行事の際に展示）



総合的な学習 アンケート調査結果(階上中実施)

事前:5月 事後:12月 実施

Q. 災害を意識しているか？

	常 に	たまに	話が出た ときだけ	ほとんど 考えない
事前	6.5	51.9	33.8	7.8
	58.4			
事後	17.4	54.2	22.9	5.5
	71.6			



Q. 家族と地震の話をするか？

	最 近	たまに	かなり前	話さない
事前	<u>8.4</u>	<u>31.2</u>	37.7	22.7
事後	<u>13.1</u>	<u>44.8</u>	24.8	17.3

39.6

57.9



Q. うちの防災対策は万全だ！

	完 璧	大丈夫	少し不安	何も無し
事前	0.7	18.8	<u>47.4</u>	<u>33.1</u>
事後	2.7	18.8	<u>59.7</u>	<u>18.8</u>




Q. 1年間の取り組みで何が有効か？

<u>防災講座</u> （チリ津波体験者、映像）	<u>81. 2</u>
避難訓練（地震発生を想定）	63. 9
実地調査の準備（質問事項作成）	42. 4
<u>実地調査</u> （地域住民へのアンケート）	<u>81. 3</u>
<u>実地調査</u> （避難経路の歩行確認）	<u>71. 5</u>
防災3ヶ条（話し合いと決定）	68. 5
作成物の掲示（アンケートまとめ・マップ°）	44. 4

防災3ヶ条（各地区毎に発表）

○ 自分、家族の安全確認をするべし

・自 助

○ みんなで助け合うべし

・共 助

○ 避難場所、危険箇所を確認すべし

・災害の認識

○ 家族の集合場所を決めておくべし

・家庭の話し合い

○ 防災グッズをそろえておくべし

・備蓄対策

防災3ヶ条（中学生の意識）

○ まず 自分の身を第一に考えるべし

○ 自分の身は自分で守るべし

徹底した自助意識。中学生は助けを待つ存在ではない

○ 普段から 近所の方とコミュニケーションをとるべし

コミュニティの一員としての自覚

○ 高齢者を助け、食料を分け合うべし

自分たちより、支援を必要とする者（弱者）への配慮

○ 心構えを持つべし

積極的防災（Active Safety）

月立小学校

小学校：イベント型

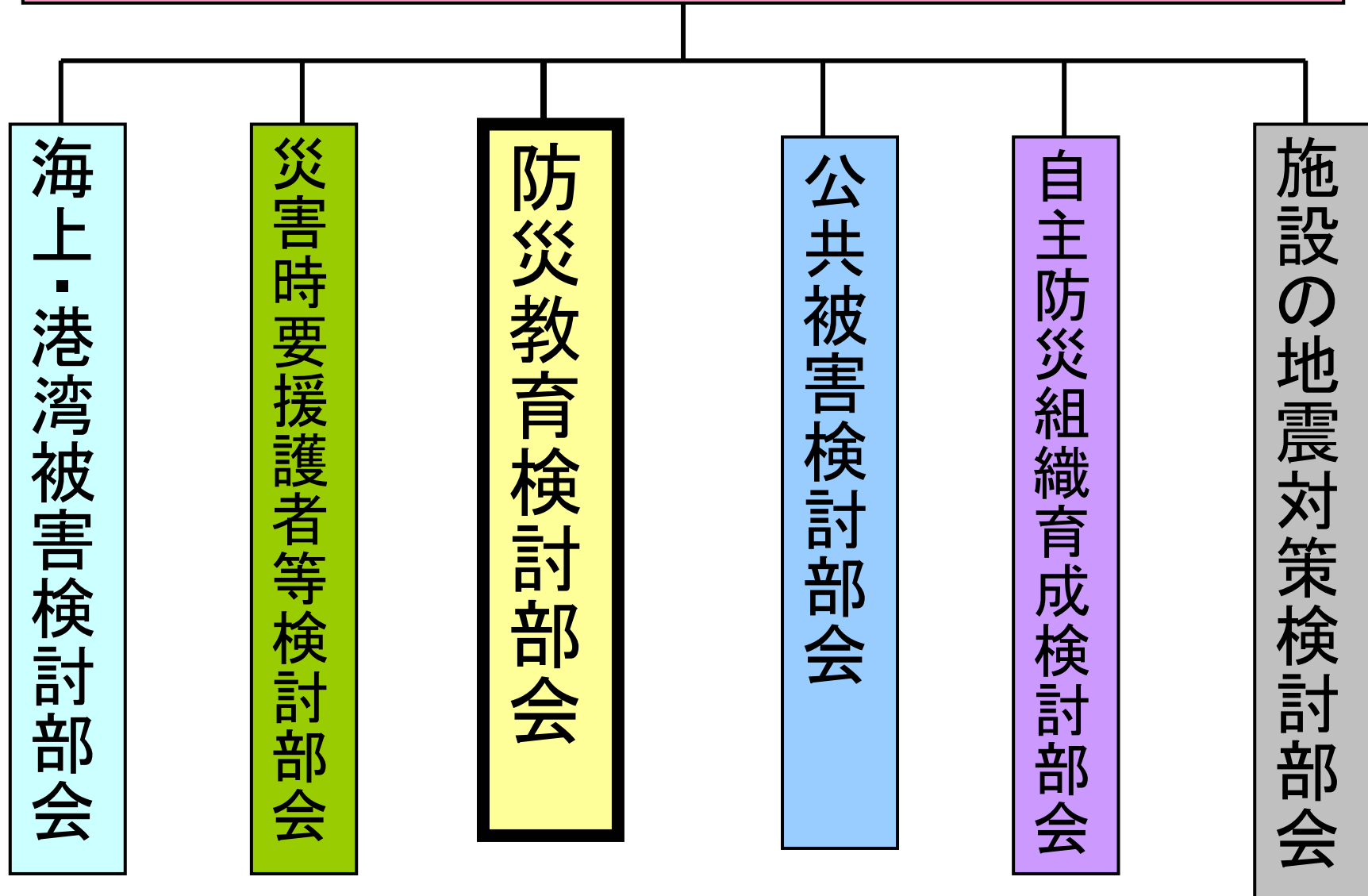
- ・「防災」そのものの認識が必要（わかりやすい資料）
- ・地域の危険箇所を知って普段から注意（マップ作成）
- ・事前対策の大切さ（減災対策）
- ・保護者の協力（地域全体の防災意識）

階上中学校

中学校：通年型

- ・動機付け（映像、写真→自分たちのことという認識）
- ・自らの調査（インターネット、現地調査、アンケート）
- ・発見・認識（自助・共助・事前対策：中学生の立場）
- ・再認識・発信・貢献（発表、報告、配布）

気仙沼市 地震・津波防災検討会議



市内小中学校への防災教育に関する アンケート結果

○ 教材の不足

○ 人材（講師）の不在

○ 時間の不足

小中学校に提供する防災教材(案)について

ぼうさいマップの作成: 気仙沼小学校 (3年生): H17年度



要した時間数

事前学習	2限
タウンウォッチング	3限
防災マップ作成	2限
発表会	1限

損保協会主催の「小学生の防災探検隊」事業を活用。
 カメラ、模造紙、筆記用具等が提供される。
 タウンウォッチングの際にはPTAの協力も得て、一緒に通学路
 の危険箇所をチェックしながら写真撮影。
 地区毎の「ぼうさいマップ」を作成し、発表会を行った。

小中学校に提供する防災教材(案)について

チリ地震津波の写真(昭和35年): 気仙沼市所有



撮影内容

魚市場の浸水状況

鹿折川沿いの状況

浸水高がわかる写真

等 10枚程度

昭和35年に南米チリで発生した地震が丸一日かけて日本に到達。東北地方を中心に大きな被害が生じた。

当時の気仙沼市が撮影したもので鹿折川沿いの被災状況。写真(現物)も所管しているが、データ処理してあるので、適宜使用目的にあわせて加工が可能である。

ぼうさい教育のキーワード

□ 「楽しさ」: 行動、学ぶ

□ 「他者への貢献」: ミッション

□ 「達成感」: 発表、配布

